

**<取材のご案内>**  
**「第4回 企業人のための生物多様性セミナー」**  
**イオンモール多摩平の森で1月22日開催**  
**企業緑地での体験とイオンの取り組みから生物多様性を学ぶ**

一般社団法人 ヤマネ・いきもの研究所は、2022年度から「体験」を大切に「先端的知識」「ふりかえり」「ワークショップ」「アンケート」をメソッドとした企業人への生物多様性セミナーを開催しています。目的は生物多様性・ネイチャーポジティブ・SDGsなどを担う企業人の育成です。これまで田んぼや森などの里山環境で、ビルの緑地などの企業緑地で展開してきました。

2024年1月22日、日野市のイオンモール多摩平の森にて、イオンの生物多様性の取り組み、消費の場を環境教育とする魅力・効果性などを学びます。同時にイオンモール多摩平の森の緑地を用いた「いきもの」体験から生物多様性を体感します。

報道関係者の皆様には、下記の日野市多摩平(JR中央本線豊田駅北口から徒歩3分)に取材をいただけますと幸いです。



## イオンモール多摩平の森の緑地

【実施概要】 \* 変更する場合があります

日時 : 2024年1月22日(月)10時30分から17時30分(受付開始10時10分)

場所 : 東京都日野市多摩平2丁目4番1

参加予定者 : 企業人

### <資料>

- ・別紙1 : これまで実施したセミナーの概要
- ・2023年度の第1回の生物多様性セミナーの案内・ちらし 田んぼにて
- ・2022年度のKNCFニュース(経団連自然保護協議会だより)winter

### 【取材申込】

一般社団法人 ヤマネ・いきもの研究所

申込期限 : 2024年1月18日(木)

下記のいずれかへご連絡ください

所在地 : 山梨県北杜市高根町下黒沢2014-1

Tel : 080-2959-5712

Mail : shusaku.minato@gmail.com

### 【セミナー全体の趣旨】全体(第1回から4回の企業人のための生物多様性セミナー)

地球の環境課題解決に企業が参画することは、主流化への大きなパワーとなり、同時に発展的な経営へとつながります。ネイチャーポジティブ・SDGsなどの課題を企業が参画し・達成・経営に活かすには、それらを担う人が必要なため、“企業人材を育成”する「教育」が必須となります。

人は心底、理解すると動き始め、成長していきます。“生物多様性”の言葉の「生物」の名称は「なまもの」「いきもの」とも読むほど“生物”は「新鮮」で「いのち」あるものです。ですから、生物多様性・ネイチャーポジティブを腹に落ちるように理解し(自分事化)、経営に活かす(自社化)には、命あり、うごめく「いきもの」「自然」を「体験」することが第1ステップとなります。そして、「体験」と「知識」とをつなげ、「ワークショップ」で他から学び合い、認識・情意を深めながら「自社化」へのステップに向かいます。

### 【第4回セミナー(2024年1月22日)の目的】

30by30 参画として企業緑地が有力なOECMである中、日本を代表する消費の場であるイオンとイオンモールからイオンとしての生物多様性の取り組み、消費の場を環境教育とする魅

力・効果性などを学びます。同時に、イオンモール多摩平の森のビオトープの「いきもの」体験から生物多様性を体感し、体験を大切にしたいセミナーを実施します。



イオンモール多摩平の森のビオトープ



みんなでビオトープの生きものを探る

主な内容(変更する場合があります)

進行 饗場 葉留果(一般社団法人 ヤマネ・いきもの研究所理事)

1. 挨拶：小堀 洋美(一般社団法人生物多様性アカデミー代表理事、東京都市大学特別教授)

2. 趣旨説明：なぜ、体験を基にした企業人への生物多様性教育なのか

湊 秋作(一般社団法人 ヤマネ・いきもの研究所代表理事、理学博士：京都大学、前 関西学院大学教授、前 関西学院大学SDGs・生物多様性研究センター長)

3. 講演 ※講演のタイトルは変更になる可能性もあります

(1) イオングループ 生物多様性の取り組み ～イオンふるさとの森づくりを中心に～

木下 順次(イオン株式会社 環境・社会貢献部)

(2) イオンモール 企業緑地の活用：消費の場を環境教育の場へ

渡邊 博史(イオンモール株式会社 地域サステナビリティ推進室長)

(3) イオンモール多摩平の森 環境を活かした取り組み

堀 秀彦(イオンモール多摩平の森 ゼネラルマネージャー)

4. いきもの体験

小宮 輝之(一般社団法人 ヤマネ・いきもの研究所理事、元上野動物園園長、日本鳥類保護連盟会長)、中山 孝志(一般社団法人 ヤマネ・いきもの研究所研究員)、湊 秋作

5. ふりかえり・ワークショップ

早勢 弘一(ワンアソシエイツ 代表取締役)・佐藤 正美(ワンアソシエイツ ディレクター)

連携団体

共催：一般社団法人生物多様性アカデミー

協力：経団連自然保護協議会、ワンアソシエイツ

イオン株式会社、イオンモール株式会社

本セミナーは、経団連自然保護基金の支援を受けて実施しています。

#### 【背景と目的と経緯】

日本では企業による環境取り組みは、主に経団連、そして、各地での有志の方たちが担ってきました。

1992年、地球的環境危機に対してリオデジャネイロで地球サミットに合わせて地球温暖化対策への「国連気候変動枠組条約」、生物多様性保全への「生物多様性条約」が採択されました。同年、経団連は「経団連地球環境憲章」の考えを自然保護分野で実践する組織として、経団連自然保護協議会を設立しました。

2004年、経団連は環境立国のための3つの取り組みを発表し、2009年には、経団連は「経団連生物多様性宣言」を発し、その改定を2018年に実施しました。その内容には「生物多様性を育む社会づくりに向け、環境教育・人材育成に率先して取り組む」を記しています。2022年には、カナダのモントリオールでCOP15が開催され、「2030年までに生物多様性の損失を止め、反転させ、回復軌道に乗せること(ネイチャーポジティブ)」の実現の国際共通目標が設定されました。それを受け、2023年2月、日本の2030生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF、会長：十倉雅和(経団連会長)、事務局：環境省)は「ネイチャーポジティブ宣言」を、3月には日本政府は“自然と共生する社会”をビジョンとする「生物多様性国家戦略2023-2050」を出し、9月には国交省により、「グリーンインフラ推進戦略」が策定され、同月、TNFDは情報開示のための最終的な推奨事項を公表し、12月には経団連自然保護協議会とJ-GBFは、シンポジウムのテーマを「COP15から1年～日本の経済界の取り組み、ネイチャーポジティブに向けた今後の期待～」として開催します。そして、政府は2023年度内に「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」を策定しようとしています。

このように、ネイチャーポジティブ・SDGsへの取り組みは、企業にとって大きな命題となっています。

しかし、生物多様性保全・ネイチャーポジティブ、SDGsの各目標もそれを担う人材育成なくして達成できません。特に生物多様性の「生物」は、“命あるもの”、“生あるもの”、“うごめくもの”、“なまもの”なので、その体験なくして、体感なくして、生物多様性を腑に落ちるように理解し、ネイチャーポジティブの課題を達成することは困難となると考えています。

それで、私たちは、「体験」を大切にしながら、「先端的な知識・基礎的な知識」、「先進的な企業から」の学び、「学びを自分の中で整理し、深めて自分事化」する“ふりかえり”を行い、次に、「異業種企業人との対話で、互いに刺激しあいながら生物多様性を自社化する“芽”をつかむ”ワークショップ”を用いてセミナーを展開しています。

#### 【これまでの参加企業の業種】

参加企業の業種は、建設、印刷、保険、商社、自動車、出版、コンサルティング、林業、精密機器、カメラ、電気、酒造、ビル経営、食品、教材、通信、電話会社、電力、不動産、製紙、弁護士事務所、地方行政、環境教育、国行政、大学、NPO、大学院生など多種多様です。

#### 【今回の第4回企業人のための生物多様性セミナーの特徴・意義】

\* 日本(アジアを含む)を代表とする消費の場であるイオン・イオンモールの取り組み・姿勢から学べること

\* 消費の場を生物多様性保全・環境教育の場として展開する視点から学べること

\* OECDの場でもある「企業緑地」で「いきもの」体験から、生物多様性を体感すること

【本リリースに関するメディア向け問い合わせ先】

組織名：一般社団法人 ヤマネ・いきもの研究所

担当者：湊 秋作

電話：080-2959-5712

MAIL：shusaku.minato@gmail.com

## プレスリリース画像



イオンモール多摩平の森の緑地



イオンモール多摩平の森のビオトープ



みんなでビオトープの生きものを探る



田んぼの畔からは、たくさんのいきものが、生き生きと暮らしている様子を発見できます。



かわいいヤマネ



イオンモール多摩平の森



イオンモール多摩平の森のビオトープに生息するギンヤンマのヤゴとメダカ



イオンモール多摩平の森の室内でのセミナー



自然との共生の具体策：ヤマネの歩道橋であるヤマネブリッジ



森のいきものと出会う



森の象徴 ヤマネと出会う



大成建設・清水建設・ヤマネ研究者・北杜市連携でできたアニマルパスウェイ



二子玉川ライズ・ルーフガーデンにある水辺



二子玉川ライズ・ルーフガーデンの緑地

<p>その他資料</p>	<p><a href="#">別紙1：これまで実施したセミナーの概要</a>  <a href="#">2023年度の第1回の生物多様性セミナーの案内・ちらし 田んぼにて</a>  <a href="#">2022年度のKNCFニュース(経団連自然保護協議会だより)winter</a></p>
--------------	---